た。期間は五月一日にさかのぼり、来年三月末まで。

妊娠を予定または希望している女性や同居の家族など二十三歳以上の町民が対象で、助成額は二千五百―五千円。妊娠で予防接種が受けられなかった人で一定の条件を満たす人は、助成期間が来年六月末まで延長される。

補正予算案を可決

川越町議会

【三重郡】川越町議会六月定例会は二十一日、一億五千二百五十万円を追加する本年度一般会計補正予算案など四議案を可決して閉会した。

自主組織活動 地域差に課題

13年防災白書

政府は21日、2013年の防災白書を閣議決定した。大規模災害に備えるには国や地方自治体だけでなく住民や地域が連携して対策をとることが重要と強調。その上で住民による自主防災組織は各地で設置が進んでいるが、活動の対象としている世帯のカバー率は地域差が大きいと課題を指摘した。

自主防災組織は12年4月時点で全国の市区町村のうち94%で設置。活動範囲は全国平均で77%の世帯を網羅しており、03年の61%から拡大している。12年の都道府県別カバー率は兵庫が96%、山梨、愛知が95%と高いが、沖縄11%、青森33%など低い地域もあった。三重は93%だった。

北勢の味 お膳でPR

鈴鹿の外食チェーン 東京の支店で販売

【鈴鹿】鈴鹿市内を中心に飲食店四店舗を運営する外食チェーン「エビス・カンパニー」（森下晃社長）は二十一日から、東京都文京区の二代目甚八本郷店で、県内の産品を使ったメニューや名産品を紹介するキャンペーン「美し国三重！おいしいもんめぐりフェア！」の第二弾を開始した。

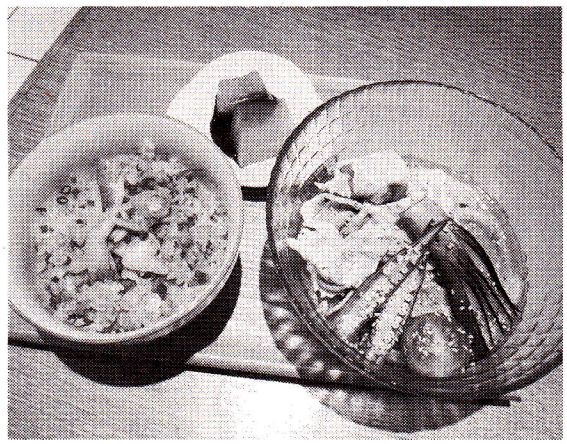
伊勢神宮式年遷宮を控え、県の魅力を東京から発信しようと同社が企画したキャンペーン。今年三月から始めた第一弾では、約三カ月間で一万二千人が来場したという。

第二弾では、鈴鹿以北の北勢地域を中心にPRする企画を展開。地域の食材を使った「三重北勢お膳」は、鈴鹿産小麦を使った麺、四日市市の九鬼産業の練りゴマを使ったゴマだれ、鈴鹿産の豚肉「さくらポーク」を使った「冷しゃぶゴマだれうどん」と桑名産のハマグリを使った「しぐれハマグリご飯」、鈴鹿の老舗和菓子店春泉堂の「小倉わらびもち」をセットに税込み九百五十円で販売する。

このほか店内では、地域産品として日永うちわや亀山ろうそく、桑名千羽鶴を展示販売。地域の祭りなども紹介している。

同店長の森下卓弥さん(三七)は「県あっての自分たち。恩返しのつもりで紹介し、県に人を呼び込みたい」とした。

期間は八月末まで。問い合わせは同店＝電話03（3868）2819＝へ。



キャンペーン第２弾として東京で販売を始めた三重北勢お膳（二代目甚八本郷店提供）

就業希望は303万人

求職していない

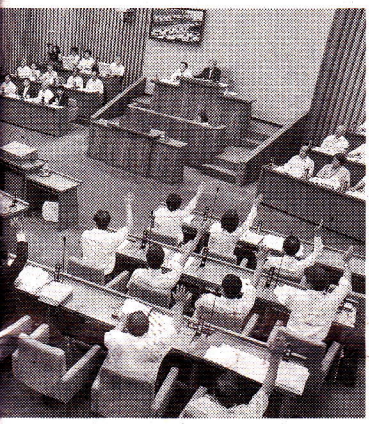
政府は21日午前、2013年版「男女共同参画白書」を決定した。15歳以上で働くことを探しもしていない女性のうち、就業を希望する303万人に達し、71%が非正規労働を望んでいることを報告した。

安倍政権は「女性を成長戦略の中核に」とけている。少子高齢化が進む中、出産や育児を離職した女性の労働力を取り込みたい考えだ。方の選択肢を増やす環境整備が必要とだ。内閣府は「子育て中心に、非正規雇用な働き方と考えている」が多いのではないかと析している。

暴言参事官、停職

復興庁、スピー

根本匠復興相は21日文投稿サイトのツイで東日本大震災の被援団体や被災自治体言を繰り返していた



討論。小林正司議員（あかつき会）は賛成の立場で「市と同社が協力して経費節減や売上げ増に努め、市が発展することを期待する」と述べた。中瀬古初美（同）▽山本芳敬（真政クラブ）▽久松倫生（共産党）―の三議員も賛成討論した。

山中光茂市長は「市民の理解を得ていかなければならない。責任の重さを感じている」と述べた。

纒向遺跡 史跡指定へ

長崎原爆遺跡は登録記念物

文化審議会（宮田亮平会長）は21日、邪馬台国畿内説の最有力地とされる「纒向遺跡」（富山市）など3件を天然記念物に指定するよう答申。「酒谷の坂元棚田および長崎原爆遺跡は登録記念物」に指定するよう答申。

纒向遺跡は、弥生時代の大規模な集落跡。整然と配置された建物跡や、東海地方など他地域の土器が出土。周辺には卑弥呼の墓との説がある箸墓古墳もあり、古代国家形成期の重要な遺跡と評価した。

長崎原爆遺跡は、被爆の跡が残る旧城山国民学校校舎のほか、爆風で落下した浦上天主堂旧鐘楼、位置が

育所の機能を併せ持つ新たな「認定こども園」の運営指針となる「保育要領」（仮称）を策定するため、初の検討会議を文部科学省で開き、有識者らが教育と児童福祉の両面から盛り込むべき内容を議論した。

新たな認定こども園は、認可と指導監督を内閣府が行い、2015年度から開